**１　Abstract**

|  |
| --- |
| 研究目的及び研究目的を達成するための方法等について、本申請の概要を英文で、1頁以内で記述すること。 |

*※留意事項①：*

*1. 本申請書は、電子申請システム上で選択した小区分に応じた書面審査セットで書面審査が行われます。書面審査セット表は本会ウェブサイトで確認してください（https://www.jsps.go.jp/j-bottom/shinsa.html）。*

*※留意事項②：*

*1. 使用する文字サイズ及びフォントに指定はありません。*

*2. 各頁の上部のタイトルと指示書きは動かしたり改変したりしないでください。*

*3. 指示書きで定められた頁数は超えないでください。なお、空白の頁が生じても削除しないでください。*

*4. 本留意事項（斜体の文章）については、申請書の提出時には削除してください。*

**２　研究目的**

|  |
| --- |
| 本研究の目的について、次の点に焦点を絞り、3頁以内で具体的かつ明確に記述すること。1. 研究の学術的背景（本研究に関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ、申請者のこれまでの研究活動を踏まえ着想に至った経緯等。）
2. 本研究の目的及び学術的独自性と創造性
3. 研究期間内に何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか
4. 相手国側研究者との研究協力の必要性と意義
5. 日本側若手研究者養成への貢献
6. 本事業による共同研究が終了したときに予想される広い意味での社会的貢献及び将来の見通し
 |

**３　研究計画・方法**

|  |
| --- |
| 研究目的を達成するための研究計画・方法について、次の点に留意して、3頁以内で具体的かつ明確に記述すること。1. 研究目的達成までの具体的な道筋
2. 相手国側研究者との連絡調整の状況など、研究着手に向けての状況
3. 相手国の研究チームとの役割分担、日本側研究代表者、主な日本側参加者、相手国側研究代表者及び主な相手国側参加者の具体的な役割
 |

**４　応募者の研究遂行能力及び研究環境**

|  |
| --- |
| 日本側研究代表者及び主な日本側参加者の研究計画の実行可能性を示すため、(1)これまでの研究活動、(2)研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）について2頁以内で記述すること。また、これまでの国際的な研究活動（本会事業に限らない）の実績（見込みを含む）と本申請との間に関連性がある場合は、関連性を具体的に記述すること。なお、「これまでの研究活動」の記述には、研究活動を中断していた期間がある場合、その説明などを含めてもよい。 |

*※留意事項*

*1. 研究業績（論文、著書、産業財産権、招待講演等）は、網羅的に記載するのではなく、本研究計画の実行可能性を説明する上で、その根拠となる文献等の主要なものを適宜記載してください。*

*2. 研究業績の記述に当たっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載してください。例として、学術論文の場合は論文名、著者名、掲載誌名、巻号や頁等、発表年（西暦）、著書の場合はその書誌情報、など。*

*3. 論文は、既に掲載されているもの又は掲載が確定しているものに限って記載してください。*

*4. 本留意事項（斜体の文書）は、申請書の提出時には削除してください。*

**５　相手国側研究者の研究遂行能力**

|  |
| --- |
| 相手国側研究代表者及び主な相手国側参加者のこれまでの研究活動や主な研究業績（論文等）について1頁以内で記述すること。 |

*※留意事項*

*1. 研究業績（論文、著書、産業財産権、招待講演等）は、網羅的に記載するのではなく、本研究計画の実行可能性を説明する上で、その根拠となる文献等の主要なものを適宜記載してください。*

*2. 研究業績の記述に当たっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載してください。例として、学術論文の場合は論文名、著者名、掲載誌名、巻号や頁等、発表年（西暦）、著書の場合はその書誌情報、など。*

*3. 論文は、既に掲載されているもの又は掲載が確定しているものに限って記載してください。*

*4. 本留意事項（斜体の文書）は、申請書の提出時には削除してください。*